第3回 富士見町行財政改革推進審議会議事録

1. 開催概要

日時：令和8年（2026年）9月17日（木） 19:00～20:54
場所：富士見町役場 会議室（一部リモート参加）
出席者：
審議会委員：12名 中9名出席（うちリモート2名）
町：町長、副町長　　事務局：企画財政課長、企画統計係長、財政係長、財政係 4名
傍聴：長野日報

次第：
1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事（議長：会長）
（1）基本方針・アクションプランについて（アンケート結果報告、答申に向けた説明・協議、今後の見通し）
（2）アクションプラン項目の進捗状況について
①中長期財政マネジメントの確立（R8財政シミュレーション速報）
②事務事業の総点検と構造改革（事業レビュー実施状況）
⑧根拠に基づく政策形成の推進（EBPM）
4. その他（次回開催予定について）
5. 閉会

2. 議事詳細

【1. 開会・会長あいさつ・会議公開の確認】
進行（企画財政課長）：「皆さん、こんばんは。それぞれお忙しい中お集まりをいただきましてありがとうございます。またリモートでご参加の皆様もありがとうございます。欠席の方もおられますので、少し会場の方が寂しい感じはいたしますけども、時間ににになりましたので、ただいまより第3回富士見町改革推進審議会を開催させていただきます。まず会長よりご挨拶をいただきたいと思います。お願いいたします。」

会長：「9月に入って雨ばかり降っていて、稲刈りと農作業に遅れが出ているというようなお話を聞く中で、心配をしているところですが、やっと今日お日様の顔が見えたというような状況です。本日は第3回の審議ということで、先日来皆さんからのアンケートについて結果がまとまったということで、その報告と合わせまして答申に向けた説明を議題にしております。よろしくご審議の方お願いしたいと思います。それでは議事に入りたいと思います。」

進行：「議事に入る前に確認をお願いいたします。会議の公開・非公開について、原則公開ということでさせていただいておりますけども、今回につきましても公開として傍聴を認めるということでよろしいでしょうか？（委員頷く：承認）ありがとうございます。それでは傍聴ということでご承知いただければと思います。また、会議で発言される際には議事録の都合上、マイクを通してご発言をお願いいたします。マイクを寄せて真ん中のボタンを押してご発言ください。それでは会長、議長をお願いいたします。」

議長（会長）：「それでは議事に入ります。議題(1)基本方針・アクションプランについて、事務局より説明をお願いします。」

【2. 議題(1) 基本方針・アクションプランについて（アンケート結果報告・対応策説明・質疑応答）】

進行：「それでは(1)の基本方針・アクションプランについてということで、事務局の方で説明をさせていただきます。最初の議題につきましては事務局の説明と合わせて質疑応答につきましても進行させていただきますのでご承知おきください。なお答申に向けた説明協議ということで本日予定をしてございます。これから来年度予算の編成時期も迎えまして、本日の質疑をもってできれば答申という形で決定をいただきたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。それでは事務局より説明させていただきます。」

事務局（財政係長）：「皆さん改めましてこんばんは。本日もよろしくお願いいたします。
スライドに沿って説明をさせていただきます。」

カテゴリー0：アンケート結果の報告

事務局からの説明

1. **調査概要・回収状況**：審議委員12名全員よりご回答をいただくことができました。回収率は100%でございます。

2. **基本方針への評価**：「概ね理解できる」が7名（58.3%）、「概ね理解できるが一部見直しが必要」が5名（41.7%）。回答者全員より方向性について理解・評価をいただくことができました。

3. **アクションプラン全体集計**：10項目 × 12名 ＝延べ120件の回答のうち、「賛成」47件（37.5%）、「概ね賛成」60件（51.7%）で合計107件（89.2%）の支持を得ました。「見直しが必要」11件（9.2%）、「判断できない」2件（1.7%）でした。

4. **項目別評価の内訳**：項目3（補助金・負担金の適正化と重点化：見直し3件）、項目4（公債管理の適正化：見直し2件）、項目5（自主財源の確保：見直し1件）、項目6（受益者負担の適正化：見直し2件・判断保留1件）、項目10（公共施設マネジメント：見直し3件）。

5. **KGIへの評価**：経常収支比率および基金残高（財政調整基金＋減債基金）で見直し意見がありましたが、明確な反対というよりは根拠や比較材料の不足による評価保留が多いと分析しております。

6. **補助金等見直し指針への評価**：「賛成」6名、「概ね賛成」4名（計10名・83.3%支持）、「見直しが必要」2名という結果でした。

7. **定性的意見から見えた主要論点**：根拠・エビデンス、ScrapとBuild、具体化・工程化、公平性・公益性、公共施設とDX、説明・対話の6点が挙げられます。

司会（企画財政課長）：「事務局からアンケート結果についてご説明させていただきました。こちらは結果の数をそのまま集計したものですので、特になければ、続けて自由記述の説明に移らせていただきますが、よろしいでしょうか？（委員質疑なし）それでは、基本方針に関する自由記述に移らせていただきます。」

カテゴリー1：基本方針に関する自由記述と対応策の説明

アンケート自由記述と事務局の説明・回答

アンケート自由記述（審議委員の意見）	対応区分	説明・回答内容
全体としては、行政経営の流れが整理されていて、何を目指して何を実行するのかは分かりやすかったと思います。財政の持続可能性を正面から扱っている点は特に良いと思いました。ただ、住民向けにより説得力を持たせるには、財政指標だけでなく、住民サービスや地域の成果がどう良くなるのかを見せた方がよいと思います。	説明	基本方針3ページの「推進体制と進行管理」において、幅広い住民に対して分かりやすい形での情報公開と説明を行うこととしております。分かりやすい公表と説明に配慮いたしますが、現段階では基金の枯渇を回避し、次世代に課題を先送りしないことを大前提・最優先としておりますので、ご理解をお願いいたします。
「選択と投資」について、「優先度の高い施策に資源を配分する」の裏には、限られた資源を優先度の高いものから配分し、優先度の低い施策はScrapしていくことが隠れていると思います。「限られた資源を優先度の高い施策に配分する」という表現に変えてはどうかとの提案です。	基本方針改正	ご提案ありがとうございます。 基本方針1ページ「どう決めるか ②選択と投資」の文言を「限られた経営資源を優先度の高い施策に」へと修正いたします。
財政の立て直しが急務なのが理解できます。これからさらに具体的になると思いますが、盛りだくさんで、理解が追い付いていないところがあるのではないかと思います。	説明	引き続きご理解をいただけるように努めてまいります。
「行政改革」と言いますが、内容は一般企業でいう業務改善の内容とほぼ同様と思われます。当たり前に「やった方がいいこと」の積み上げなので賛成します。	説明	その通り進めていきたいと思います。ありがとうございます。
人口減少は全国的なことになってくると思います。その中で歳入や雇用を増やすとして、若い人を増やそうというところは厳しい状況だと思います。	説明	人口減少が全国的に厳しい状況であることは十分承知の上ですが、何もしないのではなく、いち早く取り組みを進めるためにもご理解をお願いいたします。

司会：「基本方針の関係の説明を事務局よりさせていただきました。アンケートでいただいた意見等も反映させていただいて一部修正をしたところもございます。この他に『こういう部分の見直しが必要だ』『修正した方がいいのではないか』というご意見やご質問がありましたらお出しいただければと思います。リモートの方もアクションをお願いします。アンケートで一部見直しが必要と答えられた5名の方含め、修正やご意見はございますでしょうか？（会場・リモートともに発言なし）。一旦、基本方針については先の修正箇所の確認をしていただいたということでよろしいでしょうか。また後ほど他のアクションプラン等も説明しながら、合わせてお伺いできればと思います。それでは次の説明をお願いいたします。」

カテゴリー2：アクションプランに関する自由記述と対応策の説明

アンケート自由記述と事務局の説明・回答

関連項目	アンケート自由記述（審議委員の意見）	説明・回答内容
①中長期財政マネジメント	20年先は不確実性が高いため、何を見込んでいるか示すべき。シナリオ別提示も考えられる。余力があれば「楽観・悲観・順当」等のシナリオ別提示も考えられる。	検討します。毎年度の決算状況による数値を入力し、推計値を実績値に組み替えることでシミュレーションの更新を行っていきます。
②事務事業の総点検	各課の自己評価は負担増とばらつきが懸念される。第三者評価を取り入れるなどの工夫を期待。対象を絞り、量より質の高い評価とするため、第三者評価を取り入れるなどの工夫を期待。	判断に困るものや重要案件はこの審議会にてご審議いただくことを考えています。なお今年度全252事業の「事業レビュー」を実施しました。
③補助金・負担金 **⑥受益者負担**	補助金・負担金と受益者負担は比較的早期に効果が期待できる一方、Scrapだけでは住民理解を得にくい。重点投資するBuildを示し、幅広い町民を巻き込んだ対話が必要。	現在想定している補助金の見直しでは、個別に住民理解が得られないと進まないものであるとの認識を持って進めてまいります。
④公債管理の適正化	金利上昇で町の借金返済が厳しくなるため、可能であれば町独自に低金利の町債を発行して借り換える。	公債費管理の方針を検討する中で、いただいたご意見を含めて検討を進めてまいります。
⑥受益者負担	地域として必要最低限かつ活用の回転率が上がる範囲に収めることに重点を置いて進めてほしい。	いただいたご意見も含めて進めていきたいと思います。
⑥受益者負担	受益者負担の適正化は理解するが「登録団体」の見直しも必要。趣味団体と、防犯・子育て支援等を行う公益的団体を同一に扱うことには懸念がある。	関係する団体の活動内容等も加味しながら、また団体の理解を得ながら進めていきたいと思っております。
⑧EBPM **⑨DXの推進**	DXにより事務作業を効率化し、政策論議に関わる時間を増やす方針として示してはどうか。⑨の推進により⑧へ充てる工数を生み出す構成が分かりやすい。	おっしゃる通りだと思います。「無駄をなくす」観点からもそのような結果につながることを期待しています。（組織の組み立ては別途検討）。
⑩公共施設マネジメント	特に公共施設マネジメントについて、統廃合や長寿命化とあわせ、将来残す施設への再エネ導入・省エネ改修を長期的な財政負担の抑制策として位置づける考えがあるか。 改修・建替え時に太陽光発電、蓄電池、断熱、高効率空調等の導入可能性を検討し、初期費用だけでなく、維持費、光熱費、災害時の電力確保を含むライフサイクル全体で評価する仕組みを提案。	長期的なライフサイクルコスト（LCC）を含め慎重に判断していくことになります。
⑩公共施設マネジメント	公共施設は維持管理に多額の費用がかかるため、負担を軽くできないか。将来利益が出るかなど長期的に検討し、具体案を示してほしい。	使い方によっては、町の様々な資源を生かして利益を生むことができる可能性はあると思っております。いただいた意見を含めて検討してまいります。

司会:「アクションプランについていただいたご意見に対して、事務局の方の考えを説明させていただきました。いただいた意見を参考に進めるもので特別アクションプラン自体の修正点はございませんが、委員の皆様の方で『ここは修正した方がいいのではないか』というご意見やご質問があればお伺いできればと思います。」

Q: **【委員】**:「すいません、ありがとうございます。先ほど4番目(公債管理)のところで『町債の発行・借り換え』というのがあったかと思いますが、これはそもそも制度上できないのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。」

【財政係長】:「私どもも勉強不足な点があり『どうなんだろう』と考えていたところでございます。いただいたご意見ですので、含めて検討するという回答をさせていただいたところでございます。」

【委員】:「分かりました。ありがとうございます。」

司会:「その他よろしいでしょうか？それではこちらも一旦先の説明に移らせていただき、また全体を通してあればということで進めさせていただきます。続いてKGIの説明をお願いいたします。」

カテゴリー3:KGIに関する自由記述と対応策の説明

アンケート自由記述と事務局の説明・回答

関連KGI	アンケート自由記述(審議委員の意見)	説明・回答内容
経常収支比率85%	社会保障費、公共施設維持管理費、人件費の増加を考えると、経常収支比率の上昇は一定やむを得ない。全KPI達成により経常収支比率が5%低減する道筋が見えればよいが、かなり高い目標と 感じる。	当初お示ししていた「△5%」表記は何に対してなのか不明瞭だったため「85%」という明確な数値に変更いたしました。経常収支比率が高くなると、町の考えで新規事業に使える財源が乏しくなったり、施設の改修や道路整備などを先送りせざるを得なくなる。ご指摘のとおり非常に厳しい目標ですが、新規事業財源の確保や災害・物価高騰への対応力を維持するため、努力を惜しまず下げる決意を持って割り出した85%でございます。
基金残高20億円以上	将来の物価・建設費上昇を踏まえると20億円では不足する可能性が高く、1.5倍の30億円以上にした方がよい。	基金残高は多いに越したことはありませんが、現在の収支状況で大きく増額することは非常に厳しいと予想しております。そのためこのアクションプラン期間では「減らさない努力目標」として設定いたしました。(R7末で財調20億円)
基金残高20億円以上	20億円の根拠が乏しい。標準財政規模や基準財政需要の50%としているところもある。	富士見町の標準財政需要額約50億円の50%は25億円ですが、この50%にも根拠はありません。災害備えの目安(10～40億円)等を踏まえ、現在の収支状況から本プラン期間中は「減らさない努力目標」として設定したものです。
KGI全般	大規模・特殊災害があれば不安はあるが、最近数年の町内の傾向からおおむね妥当と思う。	ご理解をいただき、ありがとうございます。
	適正な数値なのか分からない。	根拠としては先ほどご説明したとおりです。
	これで絶対大丈夫という判断ができず「判断できない」とした。これまでの会議内容には納得している。	ご理解をお願いします。
	家計のように借入が少なければよいという話ではないが、過去の実績等を参考にした数字と考え、 目先の目標値として適切と判断した。	ありがとうございます。

司会:「KGIに関する自由記述の説明をさせていただきました。説明にありましたように『経常収支比率マイナス5%』の部分を『85%』という表記に変更させていただきます。補足ですが、平行して進めている総合計画の審議委員会でも説明した際、厳しい数字だというご意見をいただきました。大きな目標としてそのまま維持したいと考えておりますが、皆様の方でご意見や『修正した方がいい』といった点はございますでしょうか？リモートの方も含め、よろしいでしょうか？それではこちらも一旦先に進めさせていただきます。続いて補助金等見直し指針に関する説明をお願いいたします。」

カテゴリー4：補助金等見直し指針に関する自由記述と対応策の説明

アンケート自由記述と事務局の説明・回答

論点	アンケート自由記述（審議委員の意見）	説明・回答内容
公共性の高い事業への配慮	補助率を一律2分の1以内とする場合、防災・福祉・子ども支援等への配慮が必要。原則と例外の基準明示を。	一律の運用が適さないケースは認識しております。まずは事業費補助への移行や補助率1/2にできるか精査した上で、都度最適な対応を判断してまいります。
新陳代謝	補助金が400件もあることを知らなかった。時代に合わないものは廃止し、新しい補助金ができても よいと思う。	どれも的確なご意見です。 承認をいただいた後、個別事業を精査し最適化を図ります。 関係団体への補助見直しは十分な協議・理解が必要なため、時間や激変緩和等も考慮いたします。
効果検証	一度決まれば半永久的に支給される補助金が多いように思う。活動内容と効果を確認して見直す 必要がある。	
個別情報の提示	補助金の細かい内容が記載されていないため分かりにくい。現在何に補助しているのか、それぞ れ具体的に示してほしい。	
対話	見直しには賛成だが、相当な対話の時間が必須。	
使途・内容	総額よりも使われ方の内容について、見直す価値がありそうという水準で概ね賛成。	
評価基準	補助金で助けられている人は多いと思うが、年間5億円は多く、厳しい評価基準が必要。	
対象範囲・表現	上下水道への補助、諏訪広域・南諏衛生センターへの負担金も対象に含まれるか。	上下水道への「繰り出し金」、一部事務組合への「負担金」も今回の見直し対象に含まれます。他市町村との協議が必要ですが対象として進めてまいります。

司会：「補助金等見直し指針について説明させていただきました。こちらは皆様からいただいた意見を実際に見直す際に付けさせていただき、取り組んでまいりたいと考えております。修正やご質問等ございますでしょうか？関係者との協議で長く時間がかかるものもありますので、時間をかけながら見直しを進めてまいります。
続けて、その他の意見および今後の見通しについて説明をお願いいたします。」

カテゴリー5：その他の意見および今後の見通しの説明

アンケート自由記述と事務局の説明・回答

論点	アンケート自由記述（審議委員の意見）	説明・回答内容
公平性	税金は現在生活している人にも適切に使う必要があり、できるだけ多くの町民が不公平感なく恩恵を受けられるよう必要分を使うことは難しいと感じる。	ご意見として頂戴いたします。
根拠・エビデンス	人口減少と財源減少に直接の因果関係があるのかなど、当然と思っていたことが実際は違う可能性もある。 確かなエビデンスがあれば判断しやすい。	人口減少により国からの普通交付税（基準財政需要額）は確実に減額されます。基本項目に人口が算定される仕組みになっているため明確な因果関係があります。
会議運営・謝意	他の委員の質問や意見を聞くことで理解できることが多い。皆の話を聞く時間を多くしてほしい。職員の丁寧で分かりやすい説明に感謝している。	感謝申し上げます。 DX推進係にて業務効率化や活用相談会を行っております。
会議運営・謝意	職員の尽力に感謝する。目的は「やりました感」ではなく実際の成果。町民・町内企業の経営者として、成果実現に向けて協力したい。	
DX	DXでは個人でも使うアプリを行政でも利用していることに驚いた。	

今後の見通し	本日ご承認いただいた内容に基づき令和9年度予算編成に入り、次回（第4回審議会：R9年2～3月頃）に予算編成結果を報告いたします。

議題(1) 全体を通した質疑応答・委員討議および答申承認

司会：「今後の見通しということで説明をさせていただきました。不十分な部分もあろうかとは思いますが、これまでの説明等を受けて諮問に対する答申書についてご協議いただければと思います。全体を通してご意見やご質問がありましたらお願いいたします。」

R：　**【委員】（専門用語の難しさ・文字化要望）**：「全体を聞いての意見になるのですが、今回Q&Aみたいな感じだったと思うのですが、一番聞きたい『どうやっていきますか』という答えの部分が紙に文字で書かれていなかったので、新しい言葉（公共施設マネジメントなど）が出てきた時に耳で聞くのに精一杯で説明まで全然聞けませんでした。できるだけ文字化していただけると嬉しいです。」

司会：「次回以降できる限りお示しできるよう進めます。具体的にどのような言葉が難しかったかお分かりますか。」

【委員】：「単語そのものは覚えていないですが、役所側の言葉だけでなく、スライド14（公共施設マネジメント）の文章なども理解が難しかったです。アンサーの部分の言葉が分からなかったので文字化してほしいです。」

司会：「分かりやすい言葉で説明するよう努めますし、資料の中でも説明文をつけたいと思います。分からなかった点が明確になればメール等いただければ回答いたします。」

財政係：「財政用語は難しく、3回くらいの会議で理解しろというのは難しいと思います。難しい言葉で喋って煙に巻いたという結果にしたくありません。本日説明した内容を文字起こししたものをメール等でお渡しし、理解を深めていただくよう努力します。」

Q：　**【委員】（審議会の役割と反映箇所の確認）**：「根本的なところなのですが、今日の話はアンケートの記述に対してお答えいただいていますが、僕たちは今日聞いて何をする場所なのですか？」

司会：「冒頭に申し上げました通り、答申として形にするためのご承認をいただく場です。基本方針、アクションプラン、補助金見直し指針についてご承認いただき、この方針に沿って進めていく決定をいただきたいと考えております。」

【委員】：「僕たちがアンケートの自由記述に書いた内容が反映されたものはどこにあるのですか？それとも町が示したものを承認する話なのですか？」

司会：「アンケートで直した部分は、先ほどの基本方針の赤字（選択と投資の表記修正）部分です。それ以外のご意見は、これからアクションプランが動き出す中で反映させていくという前提でお聞きしております。」

財政係：「補足しますと、基本方針・アクションプランの文章自体を直してほしいという明確なご意見は赤字で修正し、その他の多くは『今後こういう方向でやってほしい』というご意見でしたので、事務局として『その通り努めます』という形で汲み取り、今後の実務で実行させていく考えです。」

【委員】：「了解しました。」

【議長】：「それでは、これまでの質疑や修正事項を含めて、答申書を取りまとめて町に提出する方向でよろしいでしょうか。」

【委員一同】：「大丈夫です（異議なし・ご承認）」

【3. 議題(2) アクションプラン項目の進捗状況について】

議長：「次の議題に移ります。『(2)アクションプラン項目の進捗状況について』、事務局から説明を求めます。最初に『①中長期財政マネジメントの確立』の項目についてお願いします。」

① 中長期財政マネジメントの確立（令和8年度財政シミュレーション速報）

事務局（財政係長）からの説明　（財政シミュレーショングラフ参照）

推計の組み替え・成置化：直近のR7年度決算実績値を反映し、新井戸尻館建設の複数年平準化等を組み入れた最新シミュレーション（速報値）を提示。

ポイント：基金枯渇時期（赤線最低ライン）が1年延びて2032年となり、基金枯渇を1年先送りできた。歳入（黄色線）は地方税・交付税増や特定財源確保の意識向上により上昇。一方、人件費・扶助費・物価高騰により歳出は高止まり傾向。

①質疑応答・委員討議

議長：「①について説明をいただきましたが、何かご質問等はございますか。」

Q1：　**【委員】**：「歳出水準が同じくらいなのに、なぜ赤線の基金残高が減っていくのかよく分からないのですが、今から食いつぶし始めているという認識でよろしいですか。」

【財政係長】：「R7年度決算でいきますと、食いつぶしている額が若干ですが多くなってきています。歳入を歳出が上回る不足分を財政調整基金の取り崩しで補填しているため、2年後には歳出が歳入を超過し、基金取り崩しが増大していくため枯渇へ向かうシミュレーションになります。」

【委員】：「黄色線（歳入）が右肩上がりにならないと基金減少は避けられないということですね。もう一点、アクションプラン（KPI/KGI）を達成した場合の将来グラフを見ることは難しいのでしょうか。」

【財政係長】：「事前予測グラフを作るのは難しく、本グラフは毎年決算値を載せてプラン実行の結果どう変化したかを検証・確認するためのものです。」

Q2：　**【委員】**：「予算編成時に財政調整基金を取り崩さない原則や、ふるさと納税に頼らない予算編成を行うことで、このグラフは大きく改善するのではないでしょうか。それはもちろん大変だとは思うんですけれども、今どこの自治体も財政調整基金を要は貯金を崩さずに予算を編成をしていくということにかなり工夫をしています。そういった予算編成をしていったりとか、あとはふるさと納税とかはあてにしない予算編成というのも同時に進めていくことによって、大きくこの数値は変わっていくのかなという期待感がちょっと個人的にはありましたのでそこだけお伝えをしておきます。」

【財政係長】：「令和8年度予算では、当初見込んでいた1億円の財調繰り入れを行わない予算編成を目標として掲げており、事業レビュー等を通じて歳出を抑えてまいります。」

議長：「次の議題に移ります。『② 事務事業の総点検と構造改革』の項目について説明をお願いいたします。

② 事務事業の総点検と構造改革（事業レビュー実施状況）

事務局（財政係長）からの説明　（事業総点検進捗資料参照）
R8予算ベース全332事業のうち252事業を対象に事業レビューを実施（廃止4件、統合1件、縮小・改善84件等に仕分け）。担当者→1次（課長）→2次（財政）→3次（町長・副町長・財政）の多段階でチェックを実施ました。この結果として、6区分に仕分けをしたもので検討し無駄を省きながら、今後予算編成をおこなっていくということで、本日進捗のご報告とさせていただきたいというふうに思っております。

②質疑応答・委員討議
議長：「②について説明をいただきましたが、質問等はございますか。」
Q：　**【委員】**：「2点お伺いします。最終評価案は来年度予算に反映され、廃止4事業は来年度廃止されるという確認でよいか。
また町の一般財源削減額がいくらか分かれば教えてほしい。」
**【財政係長】：「廃止4事業は理事者案（3次評価案）であり、今後、担当課の検討、町長ヒアリング等を通じて最終決定します。
削減金額の算出は未実施であり、まずは事業の必要性・改善視点を優先して実施しました。」**
議長：「次の議題に移ります。『⑧根拠に基づく政策形成の推進について』の項目について説明をお願いいたします。

⑧ 根拠に基づく政策形成の推進（EBPM）

事務局（企画統計係長）からの説明　（第2回審議会アクションプラン⑧説明スライドを投影）
新規事業、大型拡充事業等を対象に、課題の根拠データや成果指標（KPI）を明記するルールを導入し、試行実施する。

議長：「本日の資料には入っていませんが、第2回のスライドの14ページに乗っている部分の説明がございました。どなたか何かございますか。リモートでご参加の皆さん何かございますか。」

⑧質疑応答：なし（質疑なく終了）。
「ありがとうございました。これで本日の議事の方は終了ということで、よろしくお願いいたします。」
進行：「（会長）ありがとうございました。それでは、4の『その他』ということで事務局の方よりお願いいたします。」

【4. その他・会議録共有・閉会】

事務局（財政係長）:「次回、第4回の審議会の開催予定日についてご案内します。令和9年（2027年）の2月中を目標としておるところでございますけれども、2月・3月につきましては新年度予算の編成や3月議会の準備等が重なる非常に忙しい時期でもございますので、3月になる可能性もございます。
日程が近くなりましたら、改めて皆様にご案内・ご通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。」

進行（企画財政課長）:「ただいま説明がありました次回の日程等につきまして、何かご質問等はございますでしょうか？（会場、リモートともに確認）よろしいでしょうか。では、全般を通しまして、委員の皆様から何かございますでしょうか？」

R: **【委員】**:「先ほど議事録のお話があったと思うのですが、他の審議会で議事録をいただいたことで前回の話がよく分かったので、過去の議事録を遡ってでもいただけたらと思います。」

【財政係】:
1. 会議終了後に皆様のメールアドレスに Googleドライブのリンク をお送りしており、その中に資料や要約を共有しております。リンクも再送いたします。
2. また個人名を伏せた上で、富士見町ホームページ（企画財政課 財政係 行財政改革審議会のページ）にて過去の全資料および会議録（プライバシー配慮済）を一般公開しております。リンクをお送りします。

答申取りまとめの確認と閉会

進行:「本日お認めいただいた基本方針・アクションプラン・補助金見直し指針について、会長と相談の上で答申書案を作成してお示しいたします。専門用語が難しいという宿題もいただきましたので、次回以降は分かりやすい説明文の作成に努めてまいります。本日はお忙しい中、遅くまで長時間にわたるご審議いただきまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第3回富士見町改革推進審議会を閉会とさせていただきます。大変お疲れ様でした。」

第3回富士見町行財政改革推進審議会を閉会。